

11. その他中心市街地の活性化のために必要な事項

[1] 基本計画に掲げる事業等の推進上の留意事項

(1) 文化活動、イベント等の現況

基本計画に掲げる個別事業等のうち、特に本基本計画の主要事業として位置づけられる文化活動、イベント等に関連して、これまで以下のような実践的・試行的活動を行い、一定の集客効果を上げてきた。

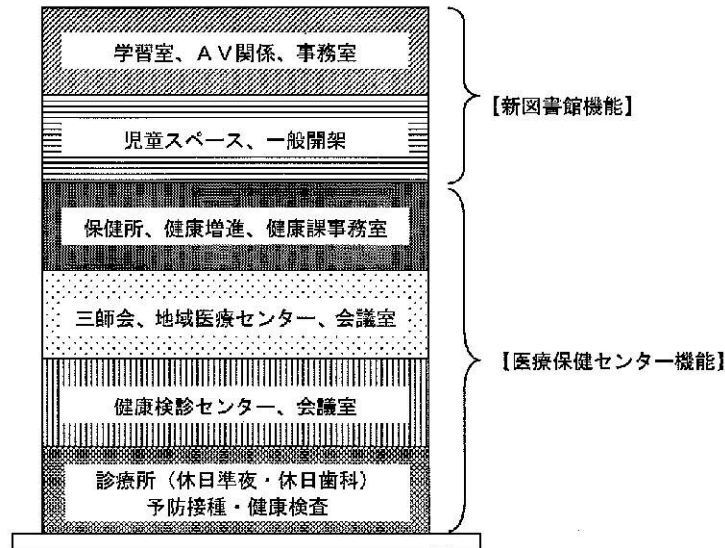
今後は、各事業が研鑽を図るとともに、「まちなか魅力発信事業」の実施、観光振興計画策定による都市観光の推進等によって、事業間の連携を強化し、中心市街地への来街者の増加、にぎわいの向上を図っていくこととする。

事業名	開始年度	現況
高崎映画祭	昭和 62年～	開催日：平成20年3月29日～4月13日 開催会場：シネマテークたかさき 高崎シティギャラリー 高崎市文化会館（区域外） 上映映画：邦画ベストセレクション／17本 洋画ベストセレクション／20本 アレクサンドル・ソクーロフ特集／12本 若手監督の現在／4本 特別企画／立川談志と『幕末太陽傳』～川島雄三監督レトロスペクティヴ～
高崎音楽祭	平成 2年～	入場者(平成19年)：24,420人 期間(平成19年)：10月7日～11月24日 (平成20年)：10月5日～11月1日 会場(平成20年)：群馬音楽センター、club FLEEZ、 高崎高島屋、高崎スズラン、高崎駅など ※区域内の会場のみを掲載
ようこそ高崎人情市	平成 10年～	毎月1回開催されており、平成19年7月に100回目を迎えた。 会場：中央銀座アーケード商店街、さやもーる商店街、高崎高島屋、もてなし広場など
フィルムコミッション事業	平成 14年～	撮影相談数：361本(平成19年度)、314本(平成18年度) 撮影支援：72本(平成19年度)、73本(平成18年度) ・テレビ、映画、プロモーションビデオ、CMなどの撮影がある。 ・中心市街地では、商店街、城址公園、高崎公園、群馬音楽センター、市庁舎、高崎駅、シンフォニーロードなどで撮影が行われている。 ・市民等を対象にエキストラを募集している。

(2) 主要事業の進捗状況

基本計画の主要事業の一つである「医療保健センター(仮称)建設事業」及び「新図書館建設事業」については、平成23年1月の整備に向け、事業者選定のための各書類(募集要項、施設整備要求水準書、審査基準書など)を作成し、平成20年2月～3月に提案書を受付、4月に審査、6月に事業契約を締結している。

■施設の立面イメージ(再掲)



(資料：施設整備要求水準書)

■施設の概要

施設名	高崎市医療保健センター(仮称)・新図書館
事業期間	平成20～22年度
階数	地上6階、地下1階
構造	耐火構造
敷地面積	約13,000㎡
延床面積	約33,700㎡
施設用途	中央保健センター、保健所、健康検診センター、休日準夜診療所、休日歯科診療所、中央図書館、附属立体駐車場、その他

(資料：暮らし・にぎわい再生事業計画高松町地区)

また、「国立病院機構高崎病院整備推進事業」については、平成21年10月の開設に向けて、平成17年に基本設計(公募型プロポーザルにより設計者を選定)、平成18年に実施設計を行い、平成19年6月より工事に入っている。

[2] 都市計画との調和等

本市のまちづくりに係る各種の上位・関連計画の概要は以下のとおりであり、基本計画における中心市街地の位置づけ、方向性と調和・整合している。

《高崎市第五次総合計画（平成20年3月策定）》

【将来のまちの姿】

■将来都市像：交流と創造～輝く高崎

■土地利用：既存の都市基盤を有効活用した集約型の都市構造への誘導を図り、都市機能の集積する市街地と、美しい農村・自然が共存共栄する、豊かなバランスを保った都市

【地域のまちづくり】・・・高崎地域（都市拠点ゾーン）

■地域の将来像

- 恵まれた交通拠点性を活かし、諸機能の積極的な集積を進め、広域から人が集まる、魅力のある都市空間を持つ地域
- 観音山丘陵をはじめとする緑や地域固有の歴史と文化を守り育てるとともに、多彩な交流による新しい都市文化の創造を通じて、だれもが心の豊かさを実感できるような地域

■将来像のイメージ

- 高度な都市機能と潤いのある緑が共存する地域
- 人・もの・情報などの多種多彩な交流がある地域
- 文化や産業の創造の場が豊かな地域
- 人と人のつながりを大切にした温かい地域

■施策の展開：

○都市拠点の形成とコンパクトシティの推進

本市の総合的な活力を高めるため、高崎駅周辺の市街地再開発事業などの都市基盤整備を推進し、北関東・信越地域の拠点都市にふさわしい街並みの整備と都市機能の集積を図るとともに、スマートインターチェンジを核とした新たな拠点地区の形成を図る。さらに社会資本の有効活用と、地域の歴史・文化・景観の保全を図ることにより、豊かな生活環境に恵まれ、コミュニティを大切にしたい、コンパクトなまちづくりを推進する。

○「創造の場」の整備

本市独自の文化を継承・発展させるとともに、市民が集い楽しみ、新しい都市文化の創造に参加できる施設として、多様な芸術・文化活動に対応できる機能を備えた芸術・コンサートホールの整備を推進する。

○保健と医療の拠点整備

市民の健康と生命を守るために、保健センター・準夜等診療所・地域医療センター・保健所などの機能を併せ持った医療保健センター（仮称）の整備を推進するとともに、国と協力して独立行政法人国立病院機構高崎病院の整備を進め、365日24時間いつでも受診・入院できる小児救急医療体制を整える。

《高崎市都市計画マスタープラン第五次総合計画（平成11年策定）》

【将来のまちの姿】

■将来都市像：人、もの、情報、文化の「交流拠点都市たかさき」

【地域別構想】・・・都心地域（旧市域を中心とした区域）

■地域の将来像：「群馬の玄関にふさわしい交流と風格のあるまち」

都心地域は、交通の要衝としての優位性を活かして高次都市機能を集積し、常住人口や交流人口を増やすことにより、中心性を高めていくことが期待されています。住民意向調査からも、商業の振興などのにぎわいのある快適な生活環境の充実が強く求められていることから、都心地域のまちづくりの目標を次のように設定します。

《用途地域指定の状況》

	高崎市 (A)	中心市街地 (B)	構成比 (B/A)	備 考
商業地域	323.1ha	147.8ha	45.7%	旧高崎市の商業地域は296ha、うち中心市街地の構成比は49.9%
近隣商業地域	265ha	3.5ha	1.3%	
第一種低層住居専用地域	627ha	0ha	0.0%	
第二種低層住居専用地域	0ha	0ha	0.0%	
第一種中高層住居専用地域	1,346ha	0ha	0.0%	
第二種中高層住居専用地域	315.6ha	0ha	0.0%	
第一種住居地域	1,371ha	5.8ha	0.4%	
第二種住居地域	204ha	0ha	0.0%	
準住居地域	71ha	0ha	0.0%	
準工業地域	588.9ha	0ha	0.0%	
工業地域	331ha	17.9ha	5.4%	鉄道用地16.5haを除くと1.4ha、0.4%
工業専用地域	247ha	0ha	0.0%	

[3] その他の事項